

# 石の里「大谷資料館・大谷寺」

大谷資料館の地下採掘場跡は、1919年(大正8年)から1986年(昭和61年)までの約70年をかけて、大谷石を掘り出して出来た巨大な地下空間です。その広さは、2万平方メートル(140m×150m)にもおよび、野球場が一つ入ってしまう大きさです。なお、坑内の年平均気温は8℃前後で、地下の大きな冷蔵庫といった感じです。戦争中は地下の秘密工場として、戦後は政府米の貯蔵庫として利用され、現在では、コンサートや美術展、演劇場、地下の教会として、また写真や映画のスタジオとしても注目を集めています。

近づくにつれて道路わきにも岩肌が露出していて、異様な雰囲気になっていきましたが、まさかこんな山奥にこれほどの幻想的な空間があるとは想像以上でした。

**日 時** 平成 30年 6月 28日(木)

**集合場所** 大宮駅 9 番線 ホーム(8 号車辺り)

**集合時間** 午前 8時10分 (23分発乗車)



## 行 程 表

JR 大宮駅(8:23)・・・宇都宮駅(9:27) バス 宇都宮駅(10:05)・・・大谷資料館(10:35)  
 大谷資料館(ガイドさんにより 40分～50分見学)  
 徒歩 12:00～12:15 大谷寺・大谷観音(60分見学)  
 バス 大谷観音(13:18)・・・馬場町下車 昼食 14時頃昼食 宇都宮ぎょうざ「来らっせ」

帰路 宇都宮駅発 ～ 大宮駅着 15:34 分発～16:41分着  
 15:53 発～17:11 着  
 16:12 発～17:28 着

JR・大宮⇄宇都宮 1317×2=2634 円(往復)  
 大谷観光一日乗車券 1680 円(バス・入館料 900+1200)

**注意事項** 館内は気温が低いので羽織る物を用意して下さい  
 足元は履きなれた靴でお願いします

假屋崎省吾作

西村 090-8336-6572  
 松本 080-6530-6733



